

摂食嚥下リハビリテーション

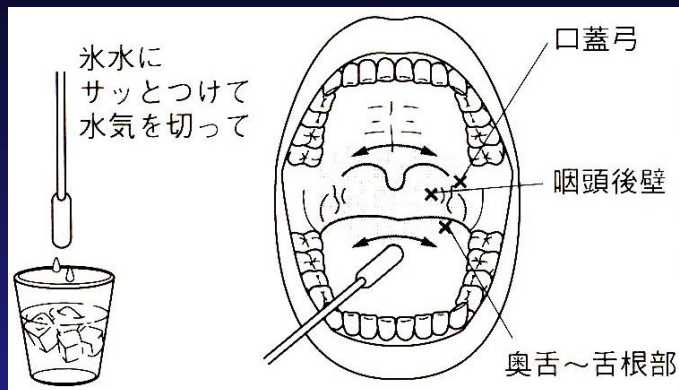
③嚥下訓練

初台リハビリテーション病院
菅原英和

摂食嚥下リハビリテーション

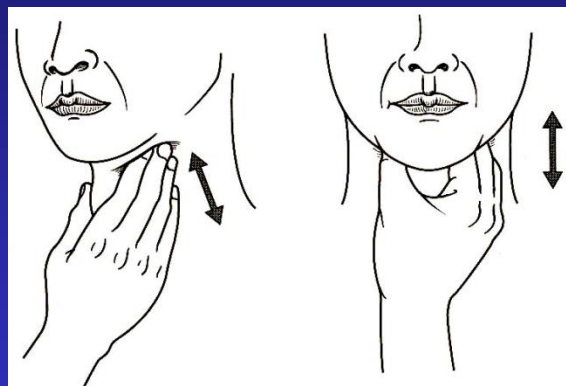
- ① 栄養・水分管理
- ② 口腔ケア
- ③ 嚥下訓練（間接訓練）
- ④ 嚥下訓練（直接訓練）

嚥下訓練（間接訓練）



アイスマッサージ

凍った綿棒に少量の水をつけて、軟口蓋・舌根部・咽頭後壁などを刺激して嚥下反射を誘発する



嚥下反射促通手技

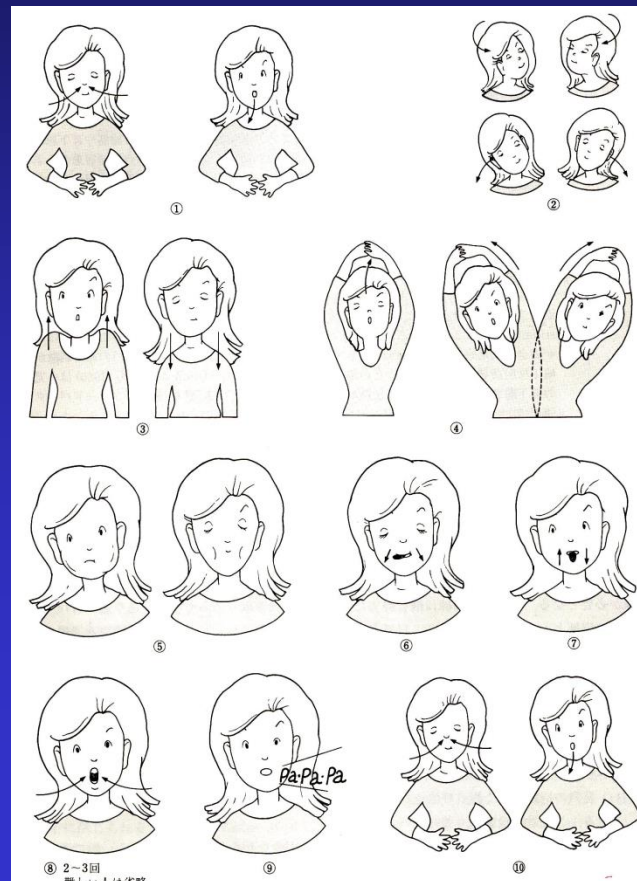
甲状軟骨から下顎下面へ指で皮膚を上下に摩擦すると嚥下反射が誘発される



ストレッチ リラクセーション

- ・口唇・頬・舌の他動ストレッチ
- ・顔面マッサージ
- ・開閉口訓練

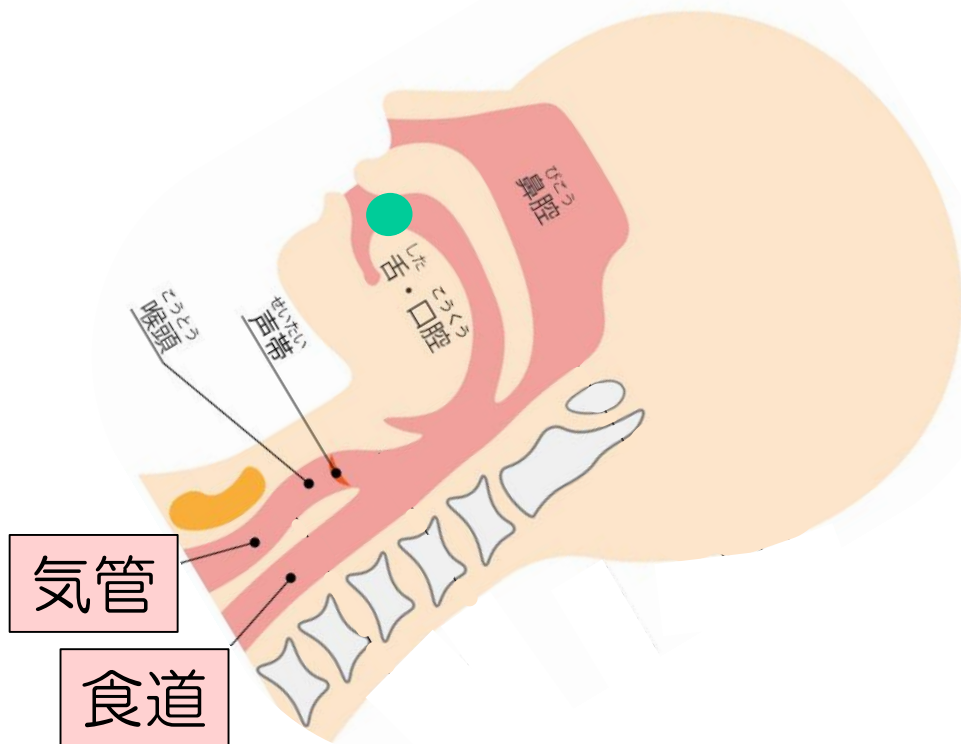
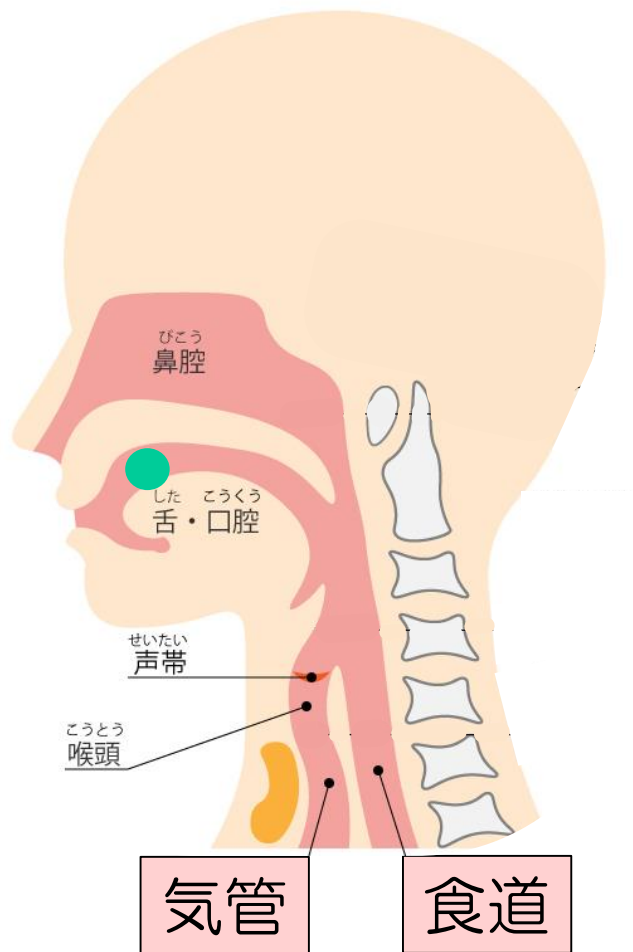
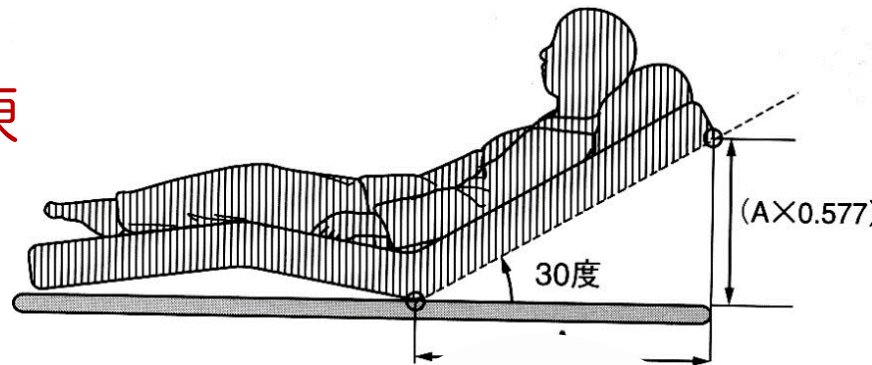
食事前に行う嚥下体操



嚥下訓練（直接訓練）



30度臥位での嚥下直接訓練



<30度臥位のメリット>

- 口腔期に問題がある場合、重力を利用して送り込める
- 臥位では、気管が食道の上に位置するので、誤嚥しにくい

座位角度が
嚥下に及ぼす影響

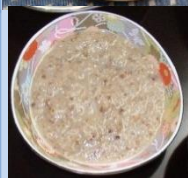
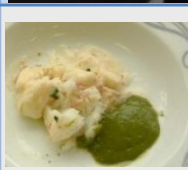
45度



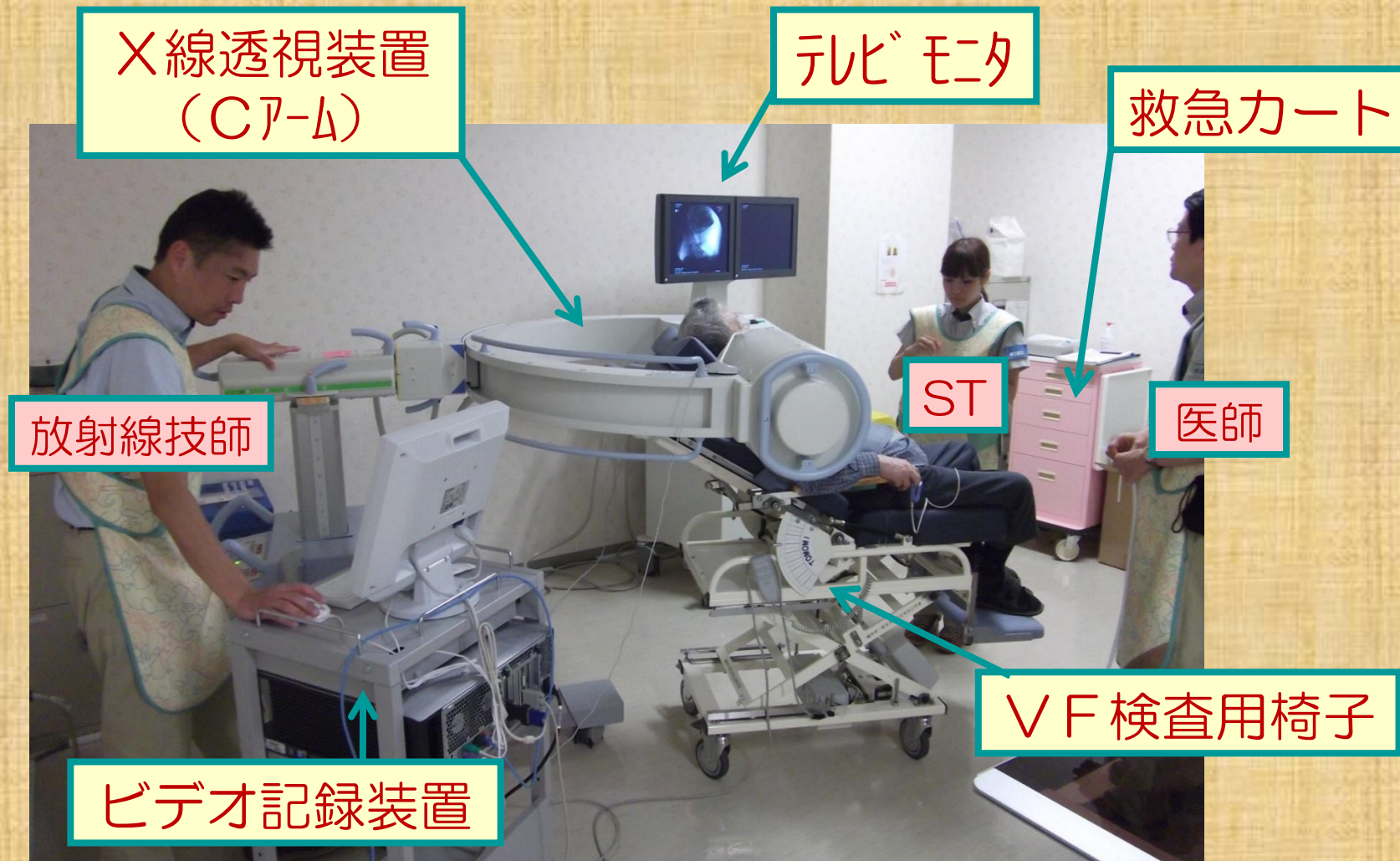
30度



日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 嚥下調整食分類2013

Oj	Ot	訓練食	Oj		ゼリー状	均質、付着性低く、凝集性高く、やわらかく、離水が少ない、スライス状にすくえる	
			Ot		とろみ	均質、付着性が低く、粘度適切、凝集性が高いスプーン上で適切な食塊状となっている	
1j		調整食	1j		ゼリープリンムース状	すくった時点で適切な食塊状となる。均質でなめらかで離水が少ない、送り込む際に多少意識して口蓋に舌を押しつける必要がある	
2-1			2-1		ミキサー食 ピューレ食 ペースト食	口腔内の簡単な操作により適切な食塊にまとめられる。送り込む際に多少意識して口蓋に舌を押しつける必要がある	なめらかで均質
2-2			2-2				粒を含み不均質
3			3		やわらか食 ソフト食	形はあるが、歯や補綴物がなくても押しつぶしができ、食塊形成が容易 一定の凝集性があり、ばらけやすさがない	
4			4		軟菜食 移行食	かたすぎず、ばらけにくく、貼りつきにくく、箸やスプーンで切れるやわらかさをもつもの	

嚥下造影検査 (VF)



- ・ パルスオキシメータ
- ・ 吸引器
- ・ 検査食

嚥下造影検査用食品

バリウムを混ぜた模擬食品（初台リハ病院）

STが準備



- 液体バリウム（30～40%W/V）

- トロミバリウム

0.5 g ・ 1 g ・ 1.5 g ・ 2 g / 100m l



- ゼリー

- 粥・軟飯

- コンビーフ

- クッキー・パンケーキ



栄養課が準備

嚥下内視鏡検査 (VE)



電子スコープ
耳鼻科用

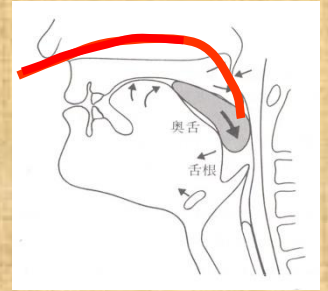
モニター

光源

動画記録用PC

- ・ 検査食
- ・ 食用色素（青）

嚥下内視鏡検査の手技 (挿入)



嚥下内視鏡検査の所見



喉頭侵入・不顕性誤嚥あり